

抗菌/抗ウイルス構造膜の印刷

Antibacterial/Antiviral Structural film printing

微細構造膜の印刷技術

Printing technology for micro-structured films

■ 背景

- パンデミック（世界的大流行）を引き起こす可能性のある未知のウイルスや薬剤耐性菌などが多く確認されており、国境を越えた対応が急がれている
- 生活の中で当たり前のように抗菌/抗ウイルス製品を使用し、感染の拡がりを抑える対応が社会全体で望まれている

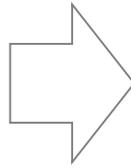


■ こんなことを解決

- 物質表面に微細構造膜を印刷することで、物理的な抗菌/抗ウイルス効果を付与
- 子供用玩具の表面や化粧品容器など、薬剤の使えないところにも安全・安心を提供



■ 技術の特徴



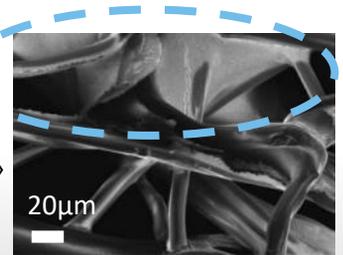
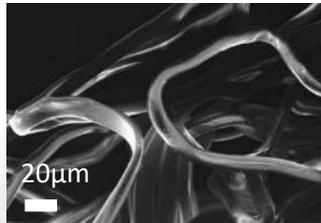
黄色ブドウ球菌
:死滅率 99.9%以上*

*ISO 22196 :2007
試験結果による死滅した割合
第三者機関に調査を依頼

インフルエンザウイルス
:死滅率 99.9%以上*

*ISO 21702 : 2019
試験結果による死滅した割合
第三者機関に調査を依頼

- ・ 高強度な構造が作れるため効果が長期間持続
- ・ 適用可能な材料の種類が多くかつ低コスト
- ・ 繊維などへの部分印刷もできる



※ イメージ

■ リコーの強み

- ・ 長年培ってきた当社独自のプリンティング技術を応用した“機能する印刷”技術

■ リコーの想い

- ・ 人体や環境に優しい材料を使い、地球・社会の持続的発展を目指します

(問合せ先) 株式会社リコー インノベーション本部 材料技術開発センター 要素技術2グループ
川村 怜 ryo.kawamura1@jp.ricoh.com

(展示会・セミナー情報)

- ・ nano tech 2021 ナノテクノロジービジネス協議会 (NBCI) ブース (アトリウム AT-02) にて展示説明します。
- ・ 今後、技術を詳しく紹介するWebセミナーを開催予定です。(決まり次第こちらのサイトに情報をアップいたします。)

[各テーマ内容詳細](#) および [イベントのご案内](#) (株式会社リコー Webサイト)

